



さくらまち通信

第8号



中央地域センター管内人口 174,928人（男 79,239人 女 95,689人） 世帯数 92,812 （令和元年5月末日現在）

※「さくらまち通信」は、原則、中央地域センター管内の小学校区へ配布しております。

いよいよ、夏本番です！！

中央地域センターから地域の情報をお届けします！！

今回は「わがまちキラリびと」大特集！！

地域を元気に！！地域で活躍するキラリ輝く方々をご紹介します♪

紙面をリニューアル！
今回からカラー版で
お届けします！



「わがまちキラリびと」Vol.8

小菅修船場跡（ソロバンドック）ボランティアガイドの皆さん

～地元の世界遺産を見守り、魅力を伝える人々～

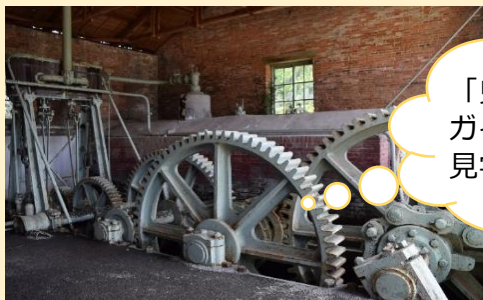


ガイドの皆さん
（左から3人目が喜多満数さん）

小菅町自治会がボランティア活動で清掃を続けてきた小菅修船場跡が、「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として世界遺産に登録されたのは平成27年。これを機に、見学に来られる方へのガイドを引き受けられた小菅町自治会を中心とした皆さん。総勢15名で土日祝日の9：00～16：00に訪れた方々を案内されています。その中で、中心となって活動されている喜多満数さん（小菅町自治会長）にお話を伺いました。

小菅修船場跡を訪れる方は、その9割が県外からとのこと。遠くは北海道からの来訪者もあったとか。令和元年を迎えた大型連休中は1日平均40人程が訪れました。多くの来訪者から「詳しく、丁寧に案内をしてもらい、改めて歴史の勉強になりました」など、様々な喜びと感謝の言葉をいただいたとき、ガイド業務をしていて良かったなあと思えるそうです。

市内からの来訪者は意外と少ないですね。身近にある世界遺産『明治日本の産業革命遺産』を市内の多くの方々にも見ていただきたいです。ぜひ、お越しください！！



「曳揚げ小屋内の様子」
ガイド駐在時に行くと
見学ができます！



スリップドックの独特な地形が見られます。

夏の酷暑の日や、冬の厳しい寒さの中でのガイドはととても大変とのこと。施設が海に面しているため、特有の風により打ち上げられた大量のごみの清掃など、厳しい業務にも取り組んでおられます。このような大変なことも「地元の大変な世界遺産をきれいな状態で守りたい、来訪者の方に喜んで見ていただきたいという思いがあるからできる」と喜多さんは笑顔で話します。

まちづくり支援担当の感想

自分たちのまちにある世界遺産に誇りを持ち、愛情をもって支えていらっしやることがよく感じられました♪
ぜひ、明治の長崎に思いをはせながら、日本近代化の原点に触れてみませんか？



「わがまちキラリびと」Vol.9

こんぶ屋 しお彩 工藤洋一さん・恵美さん夫妻

～美味しい昆布を食卓へ～



長崎街道の面影が残る本河内地区で、昆布や海産物などの卸売りや各地で開催されるイベントで出店販売をしている「こんぶ屋 しお彩」があります。こちらのこんぶ屋さんを営む、楽しいこと大好きな工藤さんご夫妻は、イベント出店だけでなく、自らイベントも企画します！！数年前から年に2回、市立図書館で楽しいお店をぎゅっと集めた「Happyマーケット」を開催。さらに「本河内という町を知ってもらいたい！」「地域を盛り上げたい！」との思いで本河内3丁目の公民館と本河内ダム公園を会場とした「Happyマーケットin本河内」を開催しています。



子どもから大人まで
大人気！！とろろ昆布♡

7月20・21日市立図書館多目的ホールにて「Happyマーケット Vol.9」開催が決定しました！ みんなをHappyにするお店がぎゅっと集合します♡ぜひ遊びにきてください！

本河内地区は斜面地が多く高齢化が進み自治会の担い手不足も課題となっています。工藤さんご夫妻の取り組みを地域の自治会も快く歓迎！公民館の提供や地域住民へチラシの配布、イベントPRなどの協力はとてもありがたかったそうです。

Happyマーケットin本河内



イベントを楽しみに遠方から足を運ばれたお客さんもいらっしゃいました♪

「わがまちキラリびと」Vol.10

城山南部自治会昼食作りスタッフの皆さん

～地域のために、自分のために昼食作り～

城山南部自治会では、高齢者ふれあいサロン【さたみ会】や、4世代交流イベント【やさしいゲームと昼食会】が行われています。どちらのイベントも、必ず地域の方が作った昼食を参加者が食べることが特徴です。今回は、昼食作りスタッフの皆さんの中で中心となって活動されている田平協子さん（城山南部自治会 文化部長）にお話を伺いました。

会の終わりには参加者の方から「今日も美味しかったよ！」「いつもありがとう」と、田平さんに次々とお礼の言葉がかけられます。皆さんの楽しみの一つが、田平さん達が作る昼食になっています。



【さたみ会】は月1回開催され、参加者は毎回60名程。【やさしいゲームと昼食会】は年4回開催され、参加者は毎回80名程になります。その時の昼食作りを行うのは田平さんを中心にわずか6名程。公民館にある台所はとても狭いですが、協力して手際よく準備を進めていきます。味付けの決め手は、料理の仕事に30年ほど携わった田平さんの長年の経験が活かされています！

まちづくり支援担当の感想

楽しいこと大好きな工藤さんご夫婦♡二人三脚で確実に夢を実現させている姿はとても素敵でした。一方、田平さんは「昼食作りは自分が外に出ていくためでもある。地域のためにもご自身のためにもできるだけ長く続けたい！」とのこと。地域もご自身も元気になる、理想的な地域活動の形ですね♪

☆まちづくり支援係のHPでは「わがまちキラリびと」全文を掲載！小菅修船場ボランティアガイドの皆さん、工藤さんご夫婦、城山南部自治会昼食作りスタッフの皆さん、それぞれの活動の様子や取り組みに対する思いをまとめていますので、ぜひご覧ください☆

※アクセス方法はこちら※

中央地域 まちづくり

検索

または

